

第 104 回医師国家試験・微生物学・免疫学関連問題一覧

(臨：臨床問題，図：別冊図表つき問題，X2・X3・EMI：A type 以外の形式)

A問題 (各論：一般 20 問・臨床 40 問。うち EMI が 1 問)

- A1：空気感染する感染症 (N95 マスクを予防に使うのはどれか)
- A2：(X2) 乳児細菌性髄膜炎の起原菌
- A7：(X3) バイオテロに用いられる可能性の高い病原体
- A8：EB ウイルス (基礎・臨床統合)
- A19：細菌感染症 (急性喉頭蓋炎が○。Haemophilus influenzae 血清型 b が多い)
- A47：(臨・図) Goodpasture 症候群の病態 (基底膜に対する自己抗体)
- A48：(臨) 高齢者のインフルエンザ

B問題 (総論：一般 40 問・臨床 22 問。うち 2 桁の計算問題が 1 問)

- B1：(X2) 高病原性鳥インフルエンザ
- B2：予防接種 (義務付けが×。努力義務=勸奨接種)
- B17：アレルギーの分類
- B25：(X3) 治療薬物モニタリング (TDM) (バンコマイシンが○のひとつ)
- B35：(X3) 子宮体癌の危険因子 (HPV は頸癌なので×)
- B42：金属アレルギーの検査
- B48：(X2) いわゆる“薬害 C 型肝炎”
- B49：アナフィラキシーショックの治療

C問題 (必修：一般 15 問・臨床 16 問)

- C3：(図) 動脈採血の方法 (感染対策上リキャップ禁止，ゴム手必須)
- C14：疾患の通称名 (俗称) (たむし=寄生虫症×，こぶらがえり=蛇咬症×！)

D問題 (各論：一般 20 問・臨床 40 問)

- D5：食中毒一般
- D14：小児急性中耳炎
- D15：結核の感染対策
- D20：細菌性膿症の帯下所見 (アミン臭が○。Fishy odor ってやつね)
- D39：(臨) 尿路感染症
- D45：(臨・図) 食物アレルギー (検査に必要な器具を図から選択)
- D46：(臨) HIV 感染症/AIDS の合併症
- D47：(臨・図) ムンプスの合併症
- D48：(臨) 非定型肺炎の empiric therapy (たぶんマイコプラズマ肺炎)
- D49：(臨) 食中毒 (幼児の血便+牛肉・鶏肉食=カンピロバクター)
- D50：(臨・図) 非結核性抗酸菌症の治療 (RFP+EB+?)

E問題 (総論：一般 40 問・臨床 29 問)

- E4：癌と危険因子 (子宮頸癌と HPV)
- E6：TORCH 症候群の予防
- E7：CRS (白内障が triad のひとつ)
- E8：(X2) I 型アレルギー (ヒスタミンを遊離する細胞)

- E15 : (X3) 感染経路検索が予防に有効な感染症 (結局答えは4つだそうです)
- E19 : 公費医療と根拠法 (結核, 予防接種法, 感染症法など。去年も出た!)
- E20 : 直ちに届出が必要な感染症 (3類 EHEC 感染症。5類全数破傷風は7日以内)
- E23 : (X2) 感染症発生動向調査 (難しすぎてボツになった)
- (余)E34 : 介護保険 (でああ, セルフケアプラン! 2号は医療保険加入者なのに。昨年・一昨年の看護師国家試験と全く同じポイントが出題されている。この領域に関し, 医師国試対策として直近の看護師国試を見ておくことは有効かもしれない。)
- E44 : (臨・X2) 髄膜炎の徴候 (項部硬直と Kernig 徴候)
- E51 : (臨) 子宮内発育遅滞 (CMV だが, 選択肢から感染経路を考えて解答可能)

F 問題 (必修: 一般 15 問・臨床 16 問)

- F3 : 医学英語 (chickenpox = varicella。必修問題としては妥当でないと言われた)
- F11 : 輸血 (GVHD, HIV スクリーニングなどが関連選択肢)
- F12 : 複雑性尿路感染症の原因 (尿がうっ滞するものを選ぶ)
- F18 : (臨) GAS 感染後急性糸球体腎炎
- F28~29 : (臨 2 連問・図) 肺炎球菌性肺炎

G 問題 (総論: 一般 40 問・臨床 29 問。うち EMI が 3 問)

- G2 : 抗菌薬の PK/PD (ついに出了か・・・)
- G28 : ワクチン・微生物検査の適応 (良問だが誤答肢が架空のモノというのは...)
- G32 : 検診
- G61~63 : (臨 3 連問) アナフィラキシー

H 問題 (必修: 一般 20 問・臨床 18 問)

- H3 : 髄膜炎の診察法 (項部硬直の診かた)
- H15 : (図) Gram 染色の手順
- H21 : (臨) 肺結核 (ホームレス + Gram 染色で有意菌が見えない肺炎)
- H25 : (臨) アナフィラキシーショック

I 問題 (各論: 一般 40 問, 臨床 40 問。うち EMI が 3 問)

- I3 : 外陰部疼痛を来す STD (梅毒は痛くない)
- I5 : 伝染性単核球症 (病態・診断・治療・合併症とテーマが散逸した典型的悪問)
- I6 : (X2) 慢性化するウイルス性肝炎
- I8 : 培養不能な抗酸菌
- I18 : (X2) ウイルスが原因の眼疾患
- I20 : スピロヘータ感染症 (*Borrelia* はスピロ科。Celsus 禿頭は皮膚糸状菌症)
- I26 : (X2) 発疹を来すウイルス疾患
- I33 : (X3) 内耳炎を起こすウイルス疾患
- I41 : (臨・図) 脳膿瘍
- I47 : (臨) 感染性心内膜炎 (経食道エコーじゃないと疣贅は見えないといたいなの?)
- I62 : (臨・X2) アレルギー性鼻炎
- I64 : (臨) 伝染性紅斑 (B19 は妊婦に感染すると胎児水腫を来すことがある)
- I65 : (臨) 易感染者の腸腰筋膿瘍→大腿ガス壊疽??
- I66 : (臨) アメーバ赤痢
- I67 : (臨) いわゆる夏型過敏性肺臓炎? (*Trichosporon asahii*, *T. mucoides* が原因)

- I69 : (臨) 肺化膿症 (肺膿瘍) (この場合の原因は嫌気性菌か)
- I72 : (臨) 顔面の蜂窩織炎?? ナニコレ・・・
- I73 : (臨) 薬剤熱